

「恐怖の男」にあらんことを。 2024.11.8

6年前、「大統領の陰謀」で知られる米国のジャーナリスト、ボブ・ウッドワード氏が米政権の内幕を暴き話題を呼んだ。狂気に満ちた意思決定のさまを描いた本の邦題は「**A**」

◆その男がホワイトハウスに帰ってくる。トランプ前大統領である。現地発の記事に祝意は感じられない。キーワードは警戒と分断か。見出しでこう大きく報じた新聞もあった。「**B**」◆本人は起訴されようが、醜聞が流れようが、意に介さない。傷の付かない特殊加工のフライパンに横して「**C**」と呼ぶメディアも。司法省では早速、起訴撤回の協議が始まったと報じられる◆生活苦にあえぐ人々の胸に、あの「米国第一主義」が響いたのは間違いない。卵が買えない、アパートが借りられない。**D**党のエリート主義はもういい。怒りは前大統領を押し上げさらに矛先を移民へ◆思い起したいのは自由の女神像に刻まれた詩の一節だ。移民受け入れの精神を高らかにうたう。「疲れて果て、貧しさにあえぎ、自由の息吹を求め、者たちを、私の元へ」。これこそ、アメリカ◆民主党の青と共和党の赤を混ぜ合わせると紫に。ハリス副大統領は敗北を認め紫のスーツを着て**E**を訴えた。この心が

正平調

上の記事を読んで、下の問いに答えましょう。

1 空欄ABCに入る語句を次の中から1つずつ選んで記号で書きましょう。

- ㊶ 刑事事件被告
- ㊷ テフロン・ドン
- ㊸ 恐怖の男

A	B	C
---	---	---

2 Dに入るアメリカの政党を、本文中から抜き出して書きましょう。

3 トランプ氏が大統領選挙で勝ったのは、彼のどんな訴えが人々に響いたからですか。本文中から6文字で抜き出しましょう。

--	--	--	--	--	--

4 傍線部について、本来のアメリカの精神をよく表している部分を35字以内で抜き出し、最初の3文字を書きましょう。

--	--	--	--

5 空欄Eに入る言葉を、次の中から選び、記号で書きましょう。

- ㊹ 混乱
- ㊺ 我慢
- ㊻ 静観
- ㊼ 融和

## NIEワークシートのこたえ（2024年11月8日公開）

◆ワークシート「トランプ氏返り咲き(社会)」  
2024.11.8日付 朝刊 1面 正平調 解答

1 A  B  C

2 民主

3 米国第一主義

4 疲れ果

5